

ユーザーレポート ～0の証明～

USER REPORT

安全を買う時代、ALC-ZEROで飲酒運転を抑止

横浜急送株式会社

横浜急送株式会社

横浜急送株式会社は、「顧客奉仕」をモットーに、2 t車から海上コンテナまで幅広い車種を揃え、東京港・横浜港で扱われる一般貨物の運送及び首都圏運送事業を手がけている。同社では、飲酒運転を防止する最大の効果策として全車輻にALC-ZEROを導入、ドライバーの意識改革を果たした。



いま考える最大の防止策として

青木所長：当社は、所属トラック協会支給のアルコールチェッカーを使用していましたが、国交省による法改正に伴い、より高精度の機種が必要と考えて全車輻にALC-ZEROを取付けました。インターロックシステムはトラック協会主催のデモンストレーションで知り、このシステムなら“ドライバーに対する抑止力”になると思い導入しました。対面式点呼でチェックをしてもお互い人間同士です。「微量のアルコールならトラックを動かした方が…」と、甘く考えてしまうことがないとはいえませんし、その結果、事故が起きれば管理上の責任は会社に起因してしまいます。



伊藤所長：飲酒運転撲滅のためには「安全を買う」ことも必要な時代です。ドライバーが飲酒してトラックが動かないと積荷が延着し、顧客からクレームが発生します。そうした事態を防止することが第一です。また、飲酒運転で重大事故を起こせば、被害者だけでなく会社も大きな損害を被ります。いま考える最大の防止策を検討した結果、たとえコストがかかってもALC-ZEROを導入する方が上策と判断したわけです。

伊藤所長：飲酒運転撲滅のためには「安全を買う」ことも必要な時代です。ドライバーが飲酒してトラックが動かないと積荷が延着し、顧客からクレームが発生します。そうした事態を防止することが第一です。また、飲酒運転で重大事故を起こせば、被害者だけでなく会社も大きな損害を被ります。いま考える最大の防止策を検討した結果、たとえコストがかかってもALC-ZEROを導入する方が上策と判断したわけです。

ドライバーの安全意識が改革された

青木所長：安全教育においては、月一回、営業所単位でミーティングを行っています。さらに年一回、全ドライバーを集めて安全運転マネジメントを開いています。ALC-ZERO導入

当初はドライバーに戸惑いもあったようですが、今では使い方を習得し、業務前日の飲酒量に注意するようになりました。

伊藤所長：ドライバーの多くは家族一丸となり、日々の生活習慣を改善しながら飲酒運転撲滅に取り組んでおります。この事が先に述べた“抑止効果”の表れでしょう。

青木所長：顧客も運送事業者の安全管理体制を厳しく見ていますが、インターロックシステムはまだ知られていないようです。顧客には「当社では乗車時にアルコールが検出されたらエンジンがかからないシステムを採用している為、出庫時及び輸送途中に飲酒運転をされる事はありません。」と説明しており、それが安全性のアピールになっています。

伊藤所長：飲酒を控えることによる生活環境の改善が効いているのか、些細な事故も減りました。ドライバーの意識改革は着実に進んでいると思います。

横浜急送株式会社では「現状、飲酒運転防止にこれ以上のものはない」とALC-ZEROの効果を評価する。“アルコールが残った状態で出勤してはならない”という意識はドライバーに浸透し、顧客の信頼に応える安全運行が実現されている。

ご利用機器

アルコールインターロック装置

ALC-ZERO

取材ご協力

横浜急送株式会社

取締役 業務部長兼
東京営業所 所長
取締役 営業部長兼
横浜営業所 所長

青木 稔 様
伊藤 恵 様

〒108-0022
東京都港区海岸 3-20-20
ヨコソーレインボータワー13階
TEL 03-5442-3361 (代)
FAX 03-5442-3366
URL <http://www.yokoso.co.jp/group/yokoq.htm>

